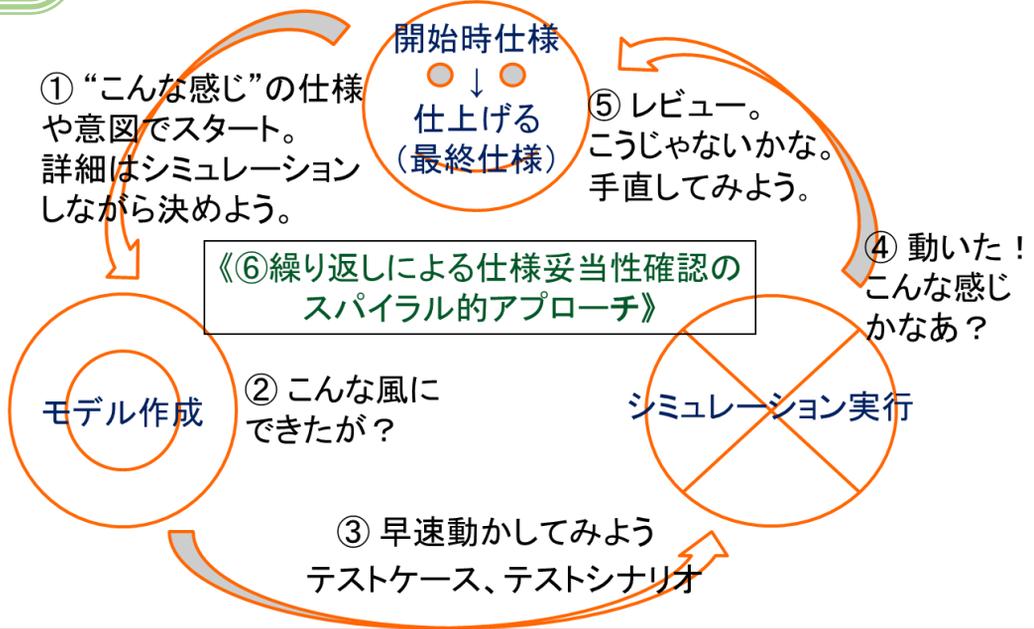


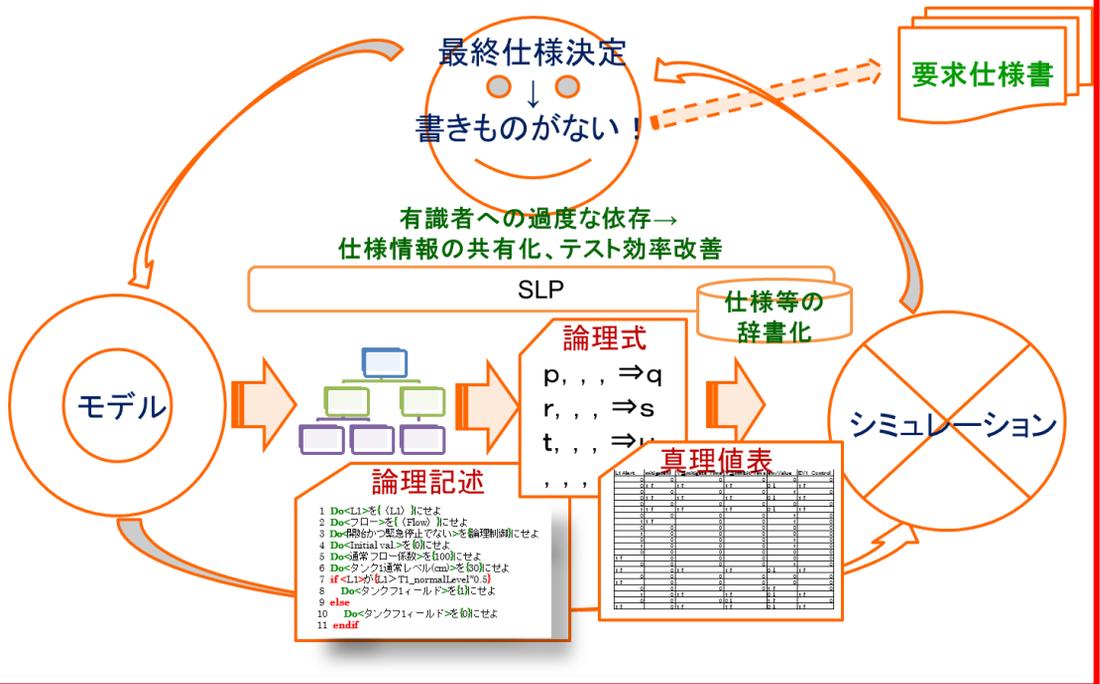
仕様は 後から

Simulink : 現状の開発
モデルを動作確認しながら仕上げて行く

SLPはモデルのテスト効率を高め、要求の仕様化を支援します



Simulink + SLP : 今後の開発
スパイラル方式に構文化手法を導入する



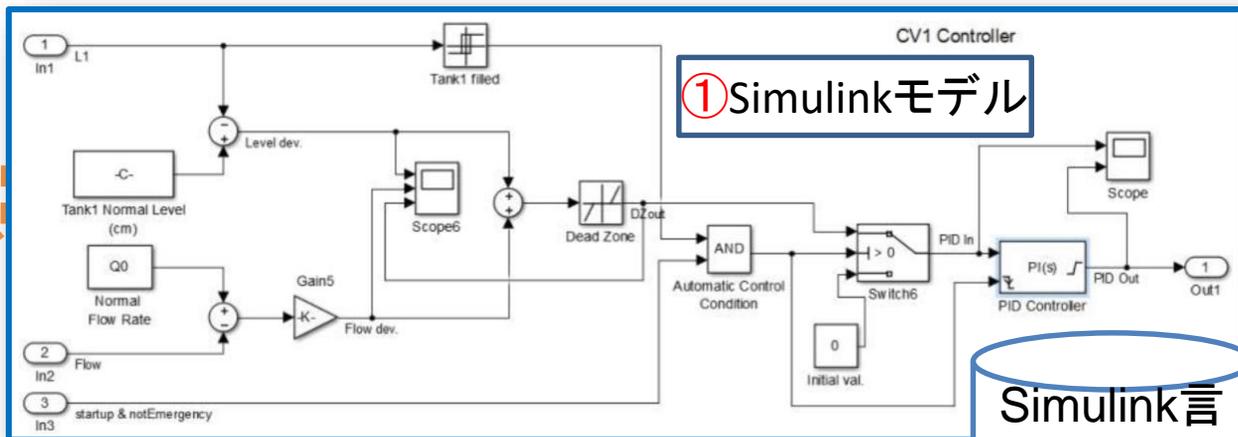
株式会社ジェーエフピー

〒020-0063岩手県盛岡市材木町2-26

<http://www.jfp.co.jp/>

JFP
metaphor Lab.

Simulinkモデルから要求仕様書を作る



Simulink言語データ

◆日本語化→レビューに効果

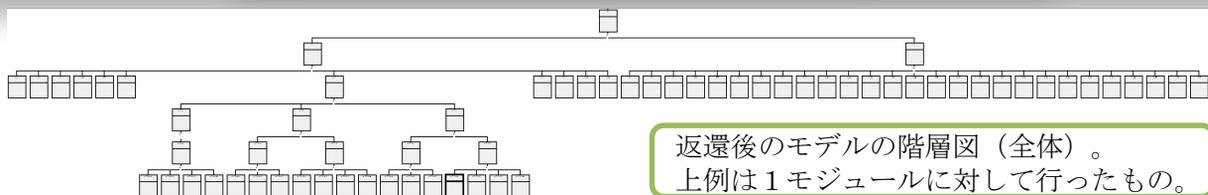
◆機能や意図を確認し、Whatやwhyを書き添え、要求仕様として抽象化する

③日本語化

L1を、〈L1〉にせよ。
 フローを、〈Flow〉にせよ。
 開始かつ緊急停止でないを、論理制御にせよ。
 Initial val.を、0にせよ。
 通常フロー係数を、100にせよ。
 タンク1通常レベル(cm)を、30にせよ。
 もしL1が、 $L1 > T1_normalLevel * 0.5$ ならば、タンク1フィールドを、1にせよ。
 もしL1が、 $L1 > T1_normalLevel * 0.5$ でないならば、タンク1フィールドを、0にせよ。
 Level dev.を、 $-L1 + Tank1\ Normal\ Level\ (cm)$ にせよ。
 総計5を、 $Normal\ Flow\ Rate - Flow$ にせよ。
 自動制御状態を、タンク1フィールドが真であり開始フラグが真であり緊急停止でないにせよ。

②構文化手法

前件	論理記述	後件
	1 Do<L1>を{〈L1〉}にせよ	L1 〈L1〉
	2 Do<フロー>を{〈Flow〉}にせよ	フロー 〈Flow〉
	3 Do<開始かつ緊急停止でない>を{論理制御}にせよ	開始かつ緊急 論理制御
	4 Do<Initial val.>を{0}にせよ	Initial va 0
	5 Do<通常フロー係数>を{100}にせよ	通常フロー 100
	6 Do<タンク1通常レベル(cm)>を{30}にせよ	タンク1通常 30
L1	7 if〈L1〉が{ $L1 > T1_normalLevel * 0.5$ }	
	8 Do<タンク1フィールド>を{1}にせよ	タンクフィ 1
L1	9 else	
	10 Do<タンク1フィールド>を{0}にせよ	タンクフィ 0
	11 endif	
	12 Do<Level dev.>を{ $-L1 + Tank1\ Normal\ Level\ (cm)$ }にせよ	Level dev. $-L1 + Tan$
	13 Do<総計5>を{ $Normal\ Flow\ Rate - Flow$ }にせよ	総計5 Normal F
	14 Do<自動制御状態>を{タンク1フィールドが真であり開始フラグが真であり緊急停止でない}にせよ	自動制御状 タンク1フ
		Flow dev. $Sum5 * 1/$
		総計6 Level dev



返還後のモデルの階層図（全体）。
 上例は1モジュールに対して行ったもの。